城山校区 防災新聞 第4号

令和6年9月1日 城山地区地域づくり活動協議会 防災部会 防災新聞 第4号

防災委員からのメッセージ

防災委員(一丁目副区長 畠山英雄)

《自分の命は自分で守る》

防災とは、災害を防ぐということですが、自然災害に、暴風、豪雨、洪水、高潮、豪雪、 地震、津波、噴火、人為災害に火災、爆発があります。その中でも私たちの環境で発生しそ うな災害は、*豪雨、豪雪、地震、火災*ですので、災害ごとの特徴を調べてみました。

豪雨:川の氾濫や土砂災害などの被害を及ぼしかねない大雨で被害の具体例は土石流、地す



べり、土砂崩れ。*豪雪*:建物の被害や交通障害などの被害を及ぼしかねない大雪で被害の具体例は交通障害、建物の倒壊。*地震*:地面の下にあるプレートが押し合う力によって発生する地表の揺れで被害の具体例は建物の倒壊、火災、交通障害、停電、断水、ガスの停止。火災:不注意や事故、放火などにより火が燃え広がることで被害の具体例は家屋の損傷、倒壊、とあります。防災とは災害に対して自己の被害を小さくするための取り組みです。災害を予見して自分で取組む対象は、地震と火災と思われます。そこで、地震対策は①家具・家電の配置の見直しと固定、②生活必需品の備蓄、③安否確認方法の共有。火災対策は災害発生時の停電対策が重要で①停電時は停電の範囲の確認、②コンセントから電源プラグを抜く、③避難時はブレーカーを落とす、ことが必要です。自然や人為的な原因により、人命やインフラに被害が生じる現象が災害です。地震対策の①と②が大切です。災害発生後、家族の人数に合わせて、生活必需品の水(飲料水1人1日3リットル目安)、食料品、衛生用品(簡易トイレ、トイレットペーパー、除菌シート)などを平常時に最低でも3日分用意することが大切で少しずつでも取組もうと思っています。

城山校区防災部会 令和6年度活動計画

防災部会事務局

城山校区防災部会が昨年4月に発足して以降、2年目に入りました。 防災部会活動の狙いとしては①各家庭で備える自助の啓蒙活動 ②3町内で連携できる仕組みづくり ③防災情報の共有化を念頭において活動しています。防災部会は月次定例として開催し、防災活動定着化の為の検討を重ねています。今回、初めて「まち歩き」を2月24日に行いました。5月には、城山町婦人会と共同で防災演習を行いました。いずれも引き続き回数を重ねて行きたいと思います。

防災アンケートご協力のお願い

令和4年の夏に防災アンケートを実施致しました。皆さんの防災取組状況、意識、ご意見などを取りまとめ回覧いたしました。回答頂いた約7割の方は「今後何らかの災害は来ると思うが、その備えは不十分です」という事です。この実情を鑑み、今回は備蓄の取組に焦点を当てたアンケートとしました。

令和6年度 城山校区の防災活動

城山校区防災部会	4月	5月	6 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 3月
防災部会		\triangle									
防災講話	△ (婦人会連携)										
防災アンケート						\triangle					
防災新聞					第	4号	(今回)		第5号		第6号
防災訓練	△(見晴台主管)										
備品展示							\triangle				
防災備品管理表										\triangle	

「第一回まち歩き」ご報告

防災部会事務局

本年2月24日(土)午前中に3町内合同20名の方々で第一回まち歩きを行いました。

防災活動を実施する上で、防災の観点からまちの状況を知り、共有化し、記録として積み重ねていく事が大切です。 昨年6月には防災部会で災害想定机上訓練を行いました。その結果、いくつかの懸念個所を共有化しました。その情報を念頭におき、一丁目、二丁目、見晴台の各所を見て回りました。その概要は以下の通りです。

<一丁目>県営高層からスタートし、水道ポンプ施設往復、中層フェンス際、公園、見晴台通路、保育園駐車場、水道タンク、集会所のルートを見て回りました。中山峠からの道路際の倒木と土砂崩れの懸念があります。ここは高崎市のハザードマップにも記載されている代表的な懸念個所です。高層から中層にかけてフェンスの変形を確認しましたが特に異常個所はありませんでした。地盤がずれた形跡は見当たりませんでした。一丁目と二丁目の間に大きな沢が2つありますが、今回は特に異常はありませんでしたが引き続き確認が必要な箇所です。水道水貯蓄槽のある周りにも異常はありませんでした。<二丁目>小学校南側側面、二丁目東側住宅街側面、北側住宅街側面、

東公園北側側面、根小屋駅に通じる坂道、コンビニまでの道路両側から歩道 全域のルートを見て回りました。大部分ののり面は擁壁措置が施行されてお り外見上からは危険と判断できる個所は把握できませんでした。

街路樹には大きくなり過ぎて根上がりしている木が増えています。倒れると 道路閉鎖、停電などの懸念があり昨年は4本を伐採しました。

引き続き市に折衝してまいります。

<見晴台>まちの通路のほぼ全域を見て回りました。55年位前のひな壇型 宅地造成の石垣の老朽化が見られ引き続きの見回りが必要です。

基礎鉄骨の腐食が進行している個所があります。木製街路灯の腐食があり この後交換をしました。

引き続き、2月頃に 三町内の「まち歩き」を 計画してまいります。







保育園駐車場から見た沢の写真





始めましょう防災備蓄! 非常食は何を準備すればいいのでしょうか

・基本は、日常食ですね。 備蓄に便利なのはパックご飯、乾麺(うどん、スパゲッティ、ラーメンなど) 即席みそ汁、缶詰、お菓子、ジュース類など日常食から保存に適したものを家族構成から考えて3日分は 備蓄しましょう。併せて検討して頂きたいのは

停電の時にお湯が沸かせるか、鍋で調理できるかです。カセットコンロ等を備えましょう。

・非常食は様々販売されています。乾パン、ビスコ、アルファ米、缶詰、パンの缶詰などがあります。 災害は3日間より長引く事は十分あり得ます。補助食として備蓄を検討しましょう。

日常食で3日分備蓄+非常食で補充+カセットコンロなど停電対策

編集後記 今年も太平洋の日本近海の海水温が高くなっています。すでに西日本では線状降水帯による災害が発生しています。明日は我が身と考えてご自宅の備えを進めましょう。(編集委員)